

災害対応工程管理システム“BOSS”について

熊本県知事公室危機管理防災課

平成30年5月16日

災害対応工程管理システム“BOSS”

BOSSシステム概要

熊本地震の課題を踏まえ

- ・ 東京大学生産技術研究所と連携
- ・ 「熊本地震」や「東日本大震災」の発災時における自治体の災害対応実績等を整理

災害対応工程を
システム化

災害対応工程を

- ① 48種類、約500業務に分類
- ② 時系列にフロー化

災害対応工程管理システム“BOSS”

【災害対応業務における48種業務分類一覧】

災害対策本部の設置・運営	相談窓口の設置・運営、電話対応	道路施設の被害状況把握・復旧	障害物の除去	土地利用の検討
職員の動員・管理	職員による救急・救助活動	警備・交通規制対応	応急危険度判定の実施	復旧・復興計画の策定・運用
視察等要人対応・議員対応	医療救護活動・衛生管理・心のケア	鉄道施設の被害・運行状況把握	公的な住居修理・解体の対応	被災企業の状況把握・支援
通信機能の確保・復旧	搜索活動等	農地・農業施設の被害状況把握・復旧	被害認定調査の実施	廃棄物の処理
被害情報の収集・報告	避難所の設置・運営	水道施設の被害状況把握・復旧及び応急給水	罹災証明の発行	物価安定対策
ハザード情報の収集・伝達	要配慮者への支援	下水道施設の被害状況把握・復旧	応急仮設住宅の建設・供給・管理①(新規)	防災教育・訓練の実施
避難勧告の発令・伝達・避難支援	文教施設の対応、応急教育	電力・ガス・通信の被害・復旧状況把握	応急仮設住宅の供給・管理②(公営住宅)	財源の確保・基金の活用
相互応援要請・受入れ・活動調整	物資の調達・供給	山地・河川・海岸等施設の被害状況把握・復旧	応急仮設住宅の建設・供給・管理③(借上型)	災害関連の出納
自衛隊・広域消防の応援要請・受入れ	ボランティアの受付・活動調整	公共建物・施設の被害状況把握・復旧	義援金の受付・配分	災害救助法等災害関連法令の事務
住民への全庁的広報・マスメディア対応	自主防災組織等住民組織の支援	危険物施設の状況把握・安全確保措置	各種生活再建支援の実施	その他

災害対応工程管理システム“BOSS”

BOSSシステムの特長・機能

①災害対応工程の「見える化」

フロー図化により、災害対応工程全体を業務別、組織別で把握。

②地域防災計画を速やかに参照

地域防災計画の該当箇所を速やかに把握。

③業務内容を迅速に把握

災害対応方法（いつ、何を、どのように）を容易に把握。
マニュアル、ガイドライン、過去の災害対応で作成したファイル名等を参照可能。

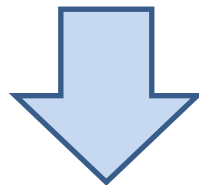
④クラウド方式のシステム

庁内の専用回線に限らず、タブレット端末等でも稼働

災害対応工程管理システム“BOSS”

BOSSシステムに期待される効果

BOSSシステムの活用により
業務を熟知していない職員でも必要な情報を素早く把握



災害対応の迅速化やレベルの均質化（標準化）